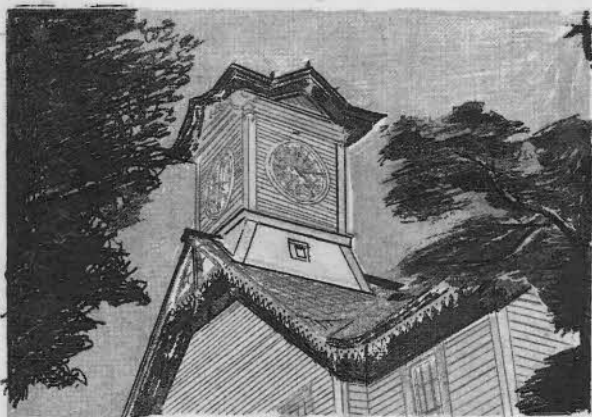


LEON- TODO

N-ro 13



1955

OKTOBRO

～ ENHAVO ～

再びリヒテンシュタインについて	桐生 實保	1 ^P
エスペラント寸考	西原 静彦	2
ユーゴスラヴィヤの大学生から	早川 昇	4
ことばと文字	橋内 和男	6
煙 火 (四)	榎沢 治雄	8
S-ro R. FIOLET より D-ro Yamaga へ		21
ユーゴスラヴィヤの少女との文通	アリクヨシハル	27
HEL 兼 書 目 録	北海道エスペラント連盟	27
オ 19 回北海道エスペラント大会報告		27
HEL 会 員 名 簿 (住所変更)		
HEL 収 入 報 告		33

再び

リヒテンシュタイン

について

ザッポロ 桐生育保

1 阪軍の5月、本誌 No.6 巻上に、リヒテンシュタインの事について書き、そのとき、「戦後のリヒテンシュタインの寂しさを知りたいと思ひます」と結びましたが、その後、Sano ARIMA から HEROLDO DE ESPERANTO / Majo 1954 をお借りして、読んでいるうち、リヒテンシュタインの文字を見付け、なつかしさのあまり、以下のやうに意訳してみました：—

たいていの旅行者が、そうするやうに、私もフランスへの帰途、リヒテンシュタインを通過する機会を得て、このあまり世間知られていない国で、1泊してみようと思ひつた。リヒテンシュタインはスイスとオーストリアの間にあつて、というより、正確には、スイス側の Buechs と Sargons の両市とオーストリアの Ferdkirch 市に囲まれている。

リヒテンシュタインの人口は、14,000 で11の町村に分れ住んでいる。首都は Vaduz で、此処には鉄道がなく、列車は北へ数キロ離れた所へ到着する。

リヒテンシュタインは、高い山々に囲まれ、西には28キロに亘るライン河に沿つた国境線がある。スイス側との国境には税関はなく、賀へい及び郵便夫に兩國同率である。特に全世界の切手蒐集家に申し上げたいのは、この国では非常に美しい、そして大変高価な、枚数な郵便切手を発行していることである。

オーストリア側の国境は、他の一般の国々のそれと異なり、取りたてて言うことはない。唯一の鉄道は、オーストリアによつて運転されている。この国の人達は、強いヒューマニティをもつていて、税金は低率であり、且つ軍備は持っていない。また、現在保有している警察力は、この静かな国の法の威厳を守るに充分である。この国の議會は、15人の議員をもち、政府は、首相以下5名の閣僚で構成されている。

Vaduz の威は、この国の統治者、國王の住いである。私は Vaduz 滞在中に

国王の Esperanto に対する考へを打診してみた。国王は Esperanto の国際語としての、妥当性を確信していて、Esperantisto に家の言葉を買わせた。

“ Esperanto をひろめるためには自然に大家の中に溶けこんでゆくことが大切でしょう。”

UEA の支部委員は、私を温く迎えてくれて、彼の家の奥では、4人の若いフランスのエスペランティストを交え、活発に話はずんだ。

最後に付け加えたいことは、この国の政府は金の必要が生じると、新しい郵便切手を発行して、これに充当すると言われているが、これは少々大規模すぎるにしても、この国の郵便切手によるフランの収入は、1951年には770,000スイスフランに達している。

こうして、私はリヒテンシュタインに対する好印象と、新しい契機と、新たに発行された郵便切手とをたづねて、この国に別れをつげた。

「エスペラント寸考」

西里 静彦

現在、世界に数える程のうち大きな国の国語に就いてみますと、その言葉としての勢力範囲は時代と共に変っている様です。此のことに私は言語家が大きな不安定性と、それに伴う停滞性を有する原因があるのではないかと考えます。国際金融に使用される言葉を作る意味で世界語と云っている様ですが、いくら代表者達が用いても、其の国の人々皆が用いていないのなら、其の世界語は決して私達の欲しているものではありません。ところで、該国の言葉、即ち国語が果して永世の世界語となり得るでしょうか。現在の世界状況が絶く限り、それは不可能です。此のことは国語それ自身の持つ性格という側の観点からも想像出来ましょう。全世界の人々から愛される言葉——其の世界語——となるには其れ相応の条件と云いましょうか性格が必要ですが、幸い私達の言葉エスペラントは明らかに其の性格、即ち世界性を有しています。文法は世界語たるに、ふさわしく整然としていて簡単です。更に国語という高書を持っていないので時代の移り変りにともなわれず前進を続けています。しかしながら未だ其の正穴は日が深く、現在は普及

段階にありますので、今後の進展の如何は全く私達の運動の方法にかつてゐると云えましょう。此のことに關し、次に同志の一人として意見を述べさせて頂き同時に宿務方にも考えて貰きたいと思ひます。但し私は未だエスペラントに習熟していませんので、その意見は私の臆知を要する様なものかも知れません。

さて、先程エスペラントの世界性ということを云いましたが、それは先づオーに文法の平易なことにありましょう。このことは世界語の必須条件であると思ひます。ところで、私の経験から申しますと辞書さへあれば割合容易に文章を作成できますが、それに比して他の人の書いた文章となると、それを読む時には、かなり苦勞をすることがあります。複雑な造語のために、語の意味の解らないことはしばしばです。エスペラント文法と云えば、大部分が造語に関するもので、これはエスペラントの重要因子となつてゐます。わづかの語彙から多数の言葉を取ったり、極めて細かな意味までも表現し得るなど、これは他の國語を凌駕する所義のものでしょうが、然し同時に、エスペラントに技巧的傾向を与えるもの故であります。このことは、エスペラントを趣味的なものにし、實用化への道を遠ざけるものと斷言出来ないこともありません。私達はそのようなことに就いても前に考へるべきであり、特に造語に際しては充分考慮を払わねばなりません。こゝにいつた造語は徒らに私達の理解を苦しめるものであり、ひいてはエスペラントへの親しみを、うすらげることにもなりかねません。私達は、其の様な語を造るのに苦勞をするよりは、むしろ易しい言葉で如何に云い表し得るかということに努めるべきでありましょう。私達は造語に於てのみならず、文の構成に於ても兎角、技巧的傾向に走りがちなものです。一た、文法を覚えると所謂巧い文章を書くことに、一層の努力を払うことは誰しも同じですが、此の「巧い文章」という意味が、しばしば誤解されるということも云える筈です。文章は人の心を表すものですから、余蘊を持たずのも結構であり、必要でもありましょうが、その爲に文章が複雑になり他人の理解の妨げになるものであつては何にもなりません。あくまで他人に理解され得るものでなくては厭意深です。此の様なことを考へると「巧い文章」というのは人の心を率直に正確に伝へ得るものということになりましょう。複雑な造語、比喩、語の省略、不要な句読点等は、しばしば私達の理解を苦しめ、時には誤解すらまねきますので私達は特に、これ等には充分注意力を向け相手の人に理解され得る様な文章を書くことに勉めるべきです。言葉は心の發露です。國語は國民の、而してエスペラントは吾輩の人々の心の發露です。それは世界の誰かが大手を振つて自由に通れる爲でなくてはなりません。

看さん、エスペラントのこの名誉ある重大な使命を再びここに託せしめよう。
少し、とりとめのない文になりましたので、終りにもう一度、私力授業を繰返します。
“卒直な周回な文章を書きましよう。そして越後のエスペラントではなに、実用のエスペラントへと私達の手で押し進めて行きましよう！”

西 里 解 彦

エス会々頁 北大生

ユーゴースラヴィヤの 大学生から

オタル 早 川 昇

私は現在、ユ国の方とは、お二人と文通して居ます。一人は、さる勿後園の、若い女の先生。私の脚返事の差上げようが何時も遅いものですから、時々恨まれたり叱られたりしますが、然し、仲々以て人柄の、好い方です。もう一人の方は、ベオグラード大学でロマンス言語学を専攻して居る学生さんで、此処に御紹介しようとするのは、此の方からの近信なのです。大変良いお手紙なので、その中から、多少言語等に隔れた部分だけを抜いて、献す幸に致します。

『貴方も読んでお書き寄越しに成りましたように、世界には凡そ三千種程度の言語が有つて、其れ等は三つの部門に分けられます。即ち、(1)一語節が一語族のもの(例、支那語)、(2)膠着するもの(例、日本語)、(3)語尾変化するもの(例、インド・ヨーロッパ語)の三つに、です。

此の「インド・ヨーロッパ語」、若しくは「アリアン語」と呼ばれて居ます諸言語は、更に、二つの大きな部門に分けられます。その一は、「ケント語」*Keantum*。他は「サテム語」*Satem* です。「ケント語」部門に属する言語を挙げて見ますと、故遠部、伊太利部、ケルト部、ギリシヤ部等、ヨーロッパで話されている言葉はかくです。「サテム語」部門の方はと申しますと、これには、ヨーロッパで話されている言葉としましては、「バルチック語」、「スラヴ語」、「アルバーニヤ語」が属し、アジアで話されている言葉としましては「イラン語」、「センツァー語」、「アルメニヤ語」が属して居ます。言語学的研究が明らかになし

て居ます所では、アリアン人の祖語は、メサン *Mesan* と北欧です。

「サテム語」は、*k* を *s* と換つて発音します。この種の言葉を「サテム」と呼びますのは、英語による「*Cento*」の読み方です。

「スラヴ語」は、「インド・ヨーロッパ語」の「サテム語」部門に属して居まして、「先スラヴ語」から由来した言葉です。「スラヴ語」は、更れを分類しなすと、

- 1) 「東スラヴ語」(「露語」・「ウクライナ語」・「白路語」)
- 2) 「西スラヴ語」(「ポーランド語」・「カスピ語」 *Kašuba lingvo*・「エルベ・スラヴ死語」 *Mortinta elbislava lingvo*・「ヴェンダ語」・「チェコ語」・「スロヴァキヤ語」)
- 3) 「南スラヴ語」(「古スラヴ死語」・「ブルガリア語」・「マケドニア語」・「セルビア・クロアチヤ語」・「スロヴァニア語」)

に分れます。それらの違いは、名詞・形容詞の変化とか、動詞活用とか、アクセントとかに現れて居るのです。

「南スラヴ語」と言うのは、凡そ三世紀のころに古スラヴの自治体から出た言葉なのです。そして一ころは、今日の南スラヴの小作地へ出る方面に、南スラヴ言語共同体が芽した事も有つたのです。然し、此の種の言葉がバルカン半島へ伸びません内に、「スラヴ語」の他の主要部門二つ——「東スラヴ語」と「西スラヴ語」が起つたのです。そして前者からは「古スラヴ語」と「ブルガリア語」、後者からは「マケドニア語」・「セルビア・クロアチヤ語」・「スロヴェニア語」が発展しました。

さて、私達セルビア人の母語の名を申しますと、それは習慣上、「セルビア語」 *Serba lingvo* と云つて居ますが、同じものをクロアチヤ人は、「クロアチヤ語」 *Kroata lingvo* と呼んで居ます。そしてこの言葉は又、モンテネグロの人々によつても語られて居るのです。科学上ではこの言葉を、「セルビア・クロアチヤ語」 *Serbokroata lingvo* と申して居ます。

私達の文章語は、この基礎の上に、ベオグラードとザグレブの二大中心地の周辺に発達したもので、発音上にイエカーヅァ *iekava* とエカーヅァと呼ばれる二種の発音が以てされたり、字母に「ラテン字母」と「スィリル字母」 *Cirila alfabeto* とが有つたりはしますが、同一性質のもので、次に、綴字法はと申しますと、それは音声学的なものでして、創成者は、ヴック・カラヂチ氏 *S-ro Vuk Karadžić* だとされて居ます。1818年に、氏の用いた初めたも

のだそうです。

「セルビア・クロアチア語」は、ユーゴスラヴィア國に有る五つの人民共和國で、話されて居ます。つまり、セルビア・クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナに於いてです。セルビアではエカーツァの発音、クロアチア、ボスニア、ヘルツェゴヴィナ・モンテネグロではイエカーツァの発音です。セルビア人、モンテネグロ人は「スィリル字母」を用いますが、クロアチア人は「ラテン字母」を使います。

「セルビア・クロアチア語」は、「スロウエニア語」、「マケドニア語」と共に、「南スラヴ語」の西方部内を成して居る訳です。この部門が南スラヴ語から分岐したのは、バルカン半島にその到達した拜代に於いてだつたとされて居ます。「セルビア・クロアチア語」を用いた記念碑は、12世紀から建て初められました。……』

余りに長文に失することを恐れて、この辺で縮減しますが、今日、東欧に於ける 에스語の大中心地を成して居るユーゴスラヴィアが、如何なる言語學的地帯を有して居たかを考えようとする方にとつても、又、世界の言語を大観したいと欲される方にとつても、このユ國の学生、ペータル・ステファノヴィッチ君の著まは好ましいものであるに相違ない。同書は未だニニオの若筆ではあるが、既に仏、伊、露の三ヶ國語を語り得、スペイン語をも若干は解し、これからはこの、松の木と茶の湯の國の言葉をも究められたいと言ふ。

實すべし。能き友、面に笑まえり。

(一九五五、九、八)

ことばと文字

橋内和男

世間には、ことばと文字とをごっちゃに考えている人が少くないようです。金田一壽彦氏の「ことばの四季」という語彙集に、憲政の神祕といわれた尾崎行雄翁が、ことばと文字をごっちゃにされた話がのっています。その話というのは、尾崎翁が「日本語を廃止しなければ國民の頭が進まない」という主張をされたが、

なんぞは
だつたと
の神祕の
だと述べ
のですか
しかし
問題が、
の進歩も
な人々は
ならない
たすこと
だ人々は
と文字と
トの文化
とこそ
保つてい
ナモジは
的、理想
否かの進
いはある
とする種
このよ
的な立場
る人々の
のことが
文藝者
います
度からい
討論の余
語句に飛
実用向き
ろんたく

なくそばからん、それは、「漢字やかなを廃止してローマ字を使え」ということだったというのです。そして金田一氏は、尾崎翁の神経が大かつたと評され、この神経の太さは、尾崎翁が言語の問題についてはシロウトだったことによるものだと言っておられます。大政治家尾崎翁にしてからがこのようなまちがいを犯すのですから、世間一般の人がまちがうのは当然かも知れません。

しかし、やはり、これでは困ると思います。人類の文化の基盤であることばの問題が、このように太い神経で扱われたのでは、民主主義も、世界平和も、人類の進歩も望まれないと思います。そのようなことを望む、進歩的な、理想主義的な人々は、ことばの問題について、金田一氏のいわれる細い神経を持たなくてはならないと思います。このような望ましい性格は、エスペランティストの中に見いだすことができます。合理的に組立てられた理想的なことばエスペラントを学んだ人々は、あらゆる言語を批判的に見る目が異なっています。そこには、ことばと文字とを混同するあやまちを犯す余地などは全くありません。エスペランティストの文化の守護者としての責任の重いことを感じます。

ところが、おもしろいことは、エスペランティストで、ローマ字やカナモジに馴染んでいる人が少ないことです。エスペラントはことばであり、ローマ字やカナモジは文字です。これには、どんな関連があるでしょうか。私はこれを、進歩的、理想主義的精神にあると思います。エスペラントを世界語にしようとするか否かの違いはあり、また、国字をローマ字にするか、カナモジにするかという違いはあるにしても、言語の現状に満足せず、少しでも合理的なものに近づけようとする精神が、ことばや文字の上に築かれたものと見てよいと思います。

このような、進歩的な立場の反面に、ことばの問題についても実に頑固く保守的な立場を守っている人々があります。国語の上では、いわゆる文藝家といわれる人々の中にその例が多いのは周知の通りです。そして、外国語についても国語のことが少くありません。最近、目についた一例をあげてみましょう。

文芸春秋の七月号に、高石真五郎氏の「ヘボン式ローマ字を主張する文が載っていますが、その中につぎのようなことばがあります。「世界における英語の普及度からいえば、英語に立脚してローマ字綴を決めるのが最も實際的であることは議論の余地がない。そして英語以外の国民も今日では、日本のローマ字綴りは英語版に劣るのだ」ということをだいたい承知している」、また、「ヘボン式が実用向きの方として何の不都合もなく、七十年の長きにわたって、日本はもろろ人広く海外諸国で用いられてきた熾然たる事実、その合理性を最も雄弁に物

語るものではないか”など、エスペランチストからみれば何という乱暴な評論でしょう。日本式ローマ字論者でなくても美稱を感じないわけには行かないと思うのです。

エスペラントの普及率は決して満足すべき状態にはありません。その最も大きな障害は、この保守的な、現状維持的な精神にあるのではないのでしょうか。エスペランチストは、このような精神ともたかかって行かなければ、その理想を達成することができないのではないかと思います。

(1955・6・23)

煙 火 (四)

相 沢 治 雄

太平洋戦争の始まったころであつた。札幌の大通りのそこかしこに若いアベックの何組かが、喜のどかな日ごしを背に浴びながら芝生の上で語り合つたり、苦菜のやよぐ下を手を取り合つてやそろ歩いたりしていた。すると通り合わせた警官がいさなり、「この非国民奴」とどなりつけた。この非常時を何人か心得ているかという妙な事を一席ぶつてから、「そんなに女とくつついていたいなら手をつないで一緒に歩け」と言つてそのちたりに屈させたアベックを二十数人集めて全部手をつながせ、十数分間大通りの人目の多い所をぐるぐる歩かせて侮辱を与えた。この夜に、軍人や警官は国民をチリアクタとも思わなかつた時代だから軍人に対する取調べは苛酷を極めた。もつとも現任でも苛酷な格向が行われている事は色々な事件で新聞や雑誌に発表されている。だがいわれなしに通行人をどらえて侮辱を加える事柄例の妙なものは聞かない。特に警官が民主的になつたとは思われないが、その妙な行為を正当化する裏付けが薄弱だからしないだけの事であろう。今の警官は昔より素質が劣つているという事は古い警官から常々聞かされる事であるから、又言語統制が行われたり、非常時とか何人とか呼ばれる時代木素たらどんな事をやり出すか知れたものではない。何んのために前述の妙なつまらない事を書いたかといへば、その当時の文化運動が如何なる非階級な弾圧を受けたか十代の青年手にはだんだん理解しがたくなるであろうし、われわれが声

を大に
人は

私が
山本正
会や講
エスペ
高瀬正
博士
なエス
河野武
活動を
イとし
193

う事が
く聞き
である
が、私
9月
の奴は
置かな
そして
真担す
次に
この事
似ても
ごめと
とは思
尤も
表通り
けとい

を大にして叫んで居ても又あの當時に逆行しつゝあるから、これからエス細を学
ぶ人は、昔の事をよく知ってもらいたいという気持ちからである。

木化事件並に連盟の態度

私が札幌のエス会に加入する様になつたのは、1931年3月頃からであると思う。
山本三三先生がオックスフォードの22回万国エス大会に参加され、帰朝後展覧
会や講演会があつて白樺という喫茶店で毎週水曜日に集會していた。札幌の古い
エスペランティストはこの当時の事を白樺時代と言つている。北大田上政敏先生、
高瀬正隆先生、まだ学生だつた坂下清一君、東隆氏、高倉真一郎先生、河野広道
博士（當時はまだ博士号をとつておられなかつた。）などの名士もその当時熱心
なエスペランティストであつた。この当時の札幌エス会に特高警察が注目したのは、
河野広道博士がメンバーであつたのと、その外太田兄弟が会員として熱心なエス
活動をして居たからであつたとと思われる。とに角、将高に清水という刑事をスパ
イとして札幌エス会に入れた。

1931年6月17日、千秋庵で臨時大会が開かれ、今後白樺は使用出来ぬとい
う事が発表された。理由は説明されなかつた。私はその後白樺を訪ねてそれと
なく聞き出して見たが、はつきりとした理由は言わなかつた。しかし、将高の干渉
である事ははつきり感ぜられた。河野博士や太田兄弟がどの様な行動をしていた
か、私は全然知らなかつた。

9月23日臨時大会が開かれ、太田兄弟の提案で、エスペラント運動も今までの
様な行き方ではいけない。すべからず常設事務所を設置して常駐の専A員位は
置かなければならない。常駐専A員は太田兄弟が自ら引受けるという事になつた。
そして常設事務所の経費の半額は太田兄弟が負担し、札幌エス会は半額の五円を
負担する事になつた。

次に集會日である9月30日はこの常設事務所で開催する事になつた。ところが、
この事務所なるものは、われわれが無縁したり希望したりしていたものとは全く
似ても似つかぬ変な場所にあつた。市立病院の向側のほゞい小路で恐ろしくごみ
ごみとしたウラ異色の狭い路でどう考えても文化運動の先端を行くエス会の事務所
とは思われない。左翼の斗士のカフレ家がアシトにそっくりであつた。

尤も家賃が十円なのだからそう立はぬものが出来るとは夢にも思わなかつたが
表通りでも小さな家なら十円で何人ばでもかりられた時代だし、玄関と一部屋だ
けという様な契約なら五円でもあつたらう。その日は私、当時幹事をしていた鎌

田吾、河野博士、栗原氏（原氏もこの当時は王質的な人物と笑られていた。）太田兄弟その他遊者が居たかはっきり記憶していないが、例の清水刑事が出席していた。会話を輪流筆して一時副位した評だろう。外に人声がしたと思つたら清水刑事はそ、くごと立ち上つて入口から出て行き、誰れかと小声でひそひそ話をしていた。そつとうかがつて見るとこのほそい小路の両側に一人か二人づつの前着らしい者が乗り込んでゐるのだ。おれおれは完全に鉄のラートとなり果てたわけである。しかし清水刑事が何を話したか知らないが、何くおぬ顔で席にもどつて来た。まもなく散会して外に出たが、先程の刑事達はどこにも見当らなかつた。恐らく清水刑事が上手に話してくれたに相違ない。私は刑事にしばり上げられる事をまのがれた事について心中大いに清水刑事の好意に感謝し同時に一程の不安を拭い去る事は出来なかつた。

この甲丁度この頃（9月18日）満洲事変の発端と言われている柳條溝事件が勃発した。

1931年（昭和六年）9月18日奉天事件勃発の時の世界情勢は裏に以上の如きものであつた。日本側の説明によれば、支那軍団匪隊がその日の夜十時頃奉天郊外の南滿洲鐵道に地雷を敷設し、10時30分長春より奉天に到着する急行列車を襲撃せんと企てたが、列車は官軍に何等の損傷も受けず、旅客も何等の被害も蒙ることなく時間通り奉天に到着した。それにも拘らず、満洲に於ける日本軍は、支那軍が鐵道破壊を企て、且つ日本軍に対する「終攻函」の一歩として日本の統守滿隊を攻撃したと主張した。この事件があつて数時間を出ない中に満洲の日本軍並に朝鮮駐屯軍の一部は長春から大連に至る南滿洲鐵道力全線に対して行動を開始したのであつた。

聯合國軍務司令部民間情報教育局の資料によると（甲原軍式訳）以上の故に説明されている。

戦争の奥がじんぶんとして来た。このあと10年太平洋戦争に突入するまで、人心はだんだんデカマンになり、左翼運動は地下潜行的秘密結社的になつて行つた。時勢はあらゆる方面に網を張りめぐらし、左翼の萌芽、未化運動の弾圧に左翼の故になつていた。

10月4日大田武明（弟）が行方不明になつた。近所の人達の話を毎夜あやしげな人物が出入りしていたことを知つた。10月5日私と横田君と二人で華南所に行つて見ると、見た事も無い男が泊り込んでいた。彼の言う処によると警察に追われた社会主義者でここに居てもあまり安全でないからどこかに行くのだが

と言つて、と将棋の集だぜ。お

私はこのれる事は迷した処ではを健やかに

ことここりわかつた

10月28

になつた。

ので、出て

ぬに来たの

るが、弟は

る足がカク

何就取した

を出さな

イ顔の刑事

服であつた

1932年

つさり記憶

道、突然一

つた。何ん

れ、手にし

ンドはいい

人物の環に

私が時々出

ものと思つ

北大の工

けないとい

1933年

Leontod

と言って、私連にも充分気をつける様に注意してくれた。近頃は短歌の会だろうと将棋の集りだろうと人が三人と集れば必ずにらまれる。——ずい分ひでえもんだぜ。おめえたちもせいぜい用心するんだな——

私はこの家はエス会の集会所としてかりている所だから主義者の人達に使用される事は逆案である事を話して立退いてくれる様に話した。後で鎌田君が私に話した処では、夜はちいさな紙片をまるめた(小さな六神丸のビン位のもの)レボを誰だかに渡してくれとたのんだとの事であるが、それも断ったそうだ。

ここここに至っては、お人善の私や鎌田君も太田君にしてやられた事のはつきりわかった。太田君達はエス会を利用して左翼のアゲトを作ったわけだ。

10月28日私が十円位の部屋を借りて集会所とし、会から五円の補助を出す事になった。この頃私は札幌市電に入局し教習を受けていた。面会人があるというので、出て見ると清水将高刑事であった。太田君の事の行き先を知らないかと尋ねに来たのだ。私は太田君とはそれ程親しくしていない事、又の住所は知っているが、事は行方不明で心当りのないという事を答えた。私は青くなって階段を上る足がカクカクふるえた。今私を尋ねて来た人が将高刑事だとわかっただけで折角就転した市電を怒り首になる公算が多々であったからだ。清水刑事はその後顔を出さなかった。転動にでもなつたらしい。その後口数の少ないおそろしくゴツイ顔の刑事が現れた。茶室四段とか五段とかいう所で、私が会った時は大てい私股であった事に記憶する。

1932年8月5日才ノ回全道大会山師で開催。9月の終りが10月の始めがはつきり記憶していないが、私が大学に行き、田上元生が菊田君を訪ねてのたえり道、突然一人の男に不審視向された。てつきり刑事だと思つたら大学の守衛であった。何人のために来たか、誰を射ねて来たか、持っている物は何かと質問され、手にしていたフロンキを調べられた。中にエス語の本が二、三冊、イスペラントはいいが社会主義はいかん、という奴な事を言った。外国語の豊富なやある人物の環には覚えなかつた。私の持っている本がイスペラントだと解る訳がない。私が時々出入するので、エスペランティストとわかつていていやがらせに調査したものと恩われる。

北大のエス会は解散させられた。何人的な研究は歴史文ないが会を作る事はいけなしいというのである。

1933年9月23日才ノ回エス大会札幌で開催。この大会については Leonardo No. 12 に詳述したが、8頁の赤色分子排斥の件というのに注目せ

うりたい。

当時の連盟規約のオニ条に次の款ねがある。

オニ条 本聯盟ノ新領土ノ如シ

- 一、吾人ハ北海道ニ於ケルエスペラントノ研究普及ノ健全ナル発達ヲ期ス。
- 二、吾人ハエスペラントノ使用ニ依ツテ國運ノ進展、國威ノ發揚、國語ノ普及ヲ期ス。

これはオ一回大会の時三田晋大先生の強い主義によつて決定されたものである。私がこの綱領に対してエス語の本質に反する様な恐れがありはしませんかと反対意見を述べたが、三田先生は大家に解不満であつたとあとで聞いた。しかしこの綱領に付いての先生の気持は現在この文章を見て要する様な軍國主義的な考え方ではない。

聯盟会報オニ号に先生は説明しておられる。

3. 「國運の進展」中等學校に於ける教育效率の増進、社会民衆の生活效率の増進、貿易、交渉、旅行等に於ける利益の増進は、我國にエスペラントが普及使用されることに依つて得られること甚大である。

我々は學國一致エスペラントを使用することを期待して此の目標に向つて促進運動を行わねばならぬ。

4. 「國威の發揚」外國語を操つて外國人に応対するのは、儲蓄を着て資本の前に出る様なものだと言われている。

どの國家にも所屬しない中立の人運語だけは、人種一同の共有財産であつて貸借關係がどこにもない。

國家の威厳は國家の實力に相応して保持せらるべきであり、我が國家の隆盛は、平易中立のエスペラントを以て世界に其の意志抱負を宣揚する時に初めて全しというべきである。我々は此の呼號の昔來を期待して努力尽瘁すべきである。

5. 「國語の尊重」國語は國史を継出し、國民性を培い、國民の風俗を堅める。國民にして國語を尊重するのは歐洲の大國に小國に其の例が多い。然るに惜しい哉、日本人にして日本語の尊重を自覺する者が乏しい。外國語の國內使用亦濫々として風をなし、日本語を純真に發達せしめよとの學說は顧みられぬ。我々は幾多の外國語の國內認識を押し、日本語の尊重なる所以を日本人の腦裏に浸透させなければならぬ。

この三田先生の御意見は實に立派なものであると思う。ジマストー一評つてモ

ーメント式
國語の尊重

感にも何
ンチストを

た。(した
の人は私

然である
のやり方に

1934年
の規約が

オ四系

オ五系

オ九系

等と定めら
そして次

最近の
たきまし

資金を
ス語を

儲つて我
に落ちた

即ち、

りますが
向に何等

ものが當
之等工

札幌エス
我がエ

らざる獲
社内工

一ノメント式のあやにしてしげなるジヤパニズ日本ランゲージの厄直する今日、「
回語の尊重」の御説明の如きは、凡中一障の清風過ぎ去るの意がするではないか。
感にも付かない特高刑罰とのつまらない磨礫をさけるため、又無色のエスペラ
ンチストを守るために私達は連盟の綱領も赤色分子兼斥改訳文を利用する事にし
た。（したというよりなつたという方が妥当であろう。）しかし真面目な左翼
の人達は私達の行き方を非難した。（インチキ左翼分子も私達を非難した事は当
然である。）現在私はやはりやむを得なかつたのだと思つている。真面目に政府
のやり方に抗議し投獄されても志をまげなかつた方々には敬意を表する。

1934年1月札幌エス会の機関紙ラ・ウールンを発行した。その中に札幌エス会
の規約があるが、

才四系 本会ハ北海道エスペラント聯盟ニ加盟ス

才五系 本会ハ北海道エスペラント聯盟ノ綱領ヲ尊重シ之ヲ遵守ス

才九系 本会ノ規約ニ違反シ又本会ノ体面ヲ汚スモノアル時ハ之ヲ除名ス

等と定められていた。

そして次の様な声明書を發表した。

声 明 書

最近のエスペラント運動の状況を見ますに、本州はもとより北海道各地に
拡がしましても講演会、講習会を盛んに開催して会員の増加を計り、輪談会、研
究会を設置して会員の学力の向上を計り、又は読書会を開催して一般人士にエ
ス語を宣伝する等其の普及兴隆に努め相当の効果を収めているのでありますが
諒つて我札幌のエス運動を見ますに、昨年の北大赤化事件以来全くその勢地
に落ちたるが如く衰えたことを感めざるを得ないのであります。

即ち、未だ学生中にエスペラントを研究して居た者が数名見出されたのであ
りますが、此の輩が新聞紙上に発表されますや、エスペラントと赤色思想との
間に何等かの関係あるもの如く誤解し、甚だしきはエスペラントの研究その
ものが当局の忌諱に触れたかの如く誤解した向も少なからずあるのであります。

之等エスペラントに対する世人の誤解と、其の誤解を感れる学習者の愚慮が
札幌エスペラント運動を停滞せしめた大なる原因であります。

我がエスペラント会は彼等赤色分子のため少なからず迷惑を蒙り、忍ぶべか
らざる犠牲を与えられた事案もあるのであります。又之等のことは編輯部、会
社内にエスペラントを普及し以て無道を世家に教さ、広く留識を海外に求むる

の度で増せしめんとする吾等の希望と、又昨来中等學校の教科中にエス語を採用せしめ外國語學習の困難より青少年を解放せんとする吾等の希望を根本より破壊するものであります。

若し吾々エスベラントが手を束ねて之等の問題を等肉に附し、進んで之等の誤解を解こうとしなかつたならば、世人の誤解はいやが上にも増大し、殊に健全なるエス語研究者は甚だしく減少し、かえつて赤色分子のエス語悪用を好し、いかにせしめ遂に事態は収拾すべからざるに至るでござりませう。

吾人は北海道に於けるエスベラントの研究普及の健全なる発達を期す。この北海道エスベラント聯盟の綱領を尊重しエス語の健全なる発達を望み又エス語を以て皇恩に報いんとする吾々は之等の事実を堅々に看過し得ないのであります。

如上の理由を以て吾々は札幌エス会は他に卒死して赤色分子兼斥の宣言を決議し、吾か会の立場を明らかにせんとする次第であります。

昭和八年十一月八日

札幌エスベラント会幹事

相次治雄

宣 言

札幌エスベラント会は北海道エスベラント聯盟の綱領を尊重し赤色分子の入会を拒絶す。

昭和八年十一月八日

札幌エスベラント会幹事

相次治雄

署名が私になっているのは会長の田上先生が北大赤色事件で北大エス会が解散になつてから札幌の会長と選定され幹事の鐵田君が、1931年1月1日勤務多化という事で私に引継いだからではあるが、上述の様な声明書には反対もあつたのではつきりとした決断を取る事と出来ず、將來責任は私が取るつもりであんな風にしたのである。

この款なり方はこのエス会でもあつた1932年に聯盟本部では道庁署長部に請書を出した。

小生等、現狀即前規約の通り北海道エスベラント会聯盟を設立し綱領に従つて

法研究すべく採問、茶室の御座解と御我助とを賜り度此叙御座に及び候也。

聞く所によれば、エスペラント研究會にして國法に背くが如き者も有りし由に候へど、是れ小生等の趣旨と全く相反する者にして、此れがために受くる小生等の損傷は及びべからざる所に御座候。小生等の意のある所を十分に御調査の上、御提議を得たく切望仕候。

尚、滋賀県高橋（大津市）に於ては、三十名の官吏が新語を盟人に研究致され候儀が、北海道各地警察署に於ても研究の御意向有之候節は、小生等喜んで協力し相共に研究致したる存念に御座候。

昭和七年十一月二十七日

十勝回廊五町大通五丁目十四

北海道エスペラント会聯盟本部

幹事 原田三馬
三田智大
外聯盟員一同

北海道庁警察部長 藤田長敏 殿

面白い事に國法に背くが如き者という處の國法の字が印刷では^四國法に背くが如き……となつており、ペンで國法と訂正してある事である。フロイド學者なら適當に面白い説明を付ける事だろうと思ふ。

石井時高 刑事について

Leontodo No. 12. 6頁を参照されたい。才24回日本大会の記事を書く時に発表するつもりであつたが、この社に認めた方が連勝がよい事に思われるので、筆を進める事にする。石井と言うのは本名でないという事はすでにのべた。取兼上エスペラント運動を調査しなければならぬから、エス運動の調査をしたり色々な欺計を用いたりしたのであらう。

人間的に決して悪人ではないむしろ善人である。刑事という職業と時運が良く、又自分自身で良心の呵責さえ感じなければ、たしかに愉快で面白い仕事に違いない。ことにあの当時の刑事なら実に面白い毎日をおくつて居たものの様である。そのへんを歩いているなんでもない男を不審視向したり、返事の仕方が変にくわなければ頭からおどかしつけたり、態度にあいまいな處があれば警察にしようびいて行く。ここに行けばうんもすんも一言も勘を言わせない。なぐるける事

は最も手やわらかな方法であった。あの当時行われていた拷問の方法は指を縛つてその間に鉛筆を挿込んでえをねじる。口から水をつきこむ、耳や鼻の穴に火を付けた線香をつきこむという様な事が最も拷問の好む処であつたという話だ。最近発行された刑事事件に関する不正事件を取りあつた書籍によるとやはり現在と同じ様な拷問を行なつてゐるという事である。(裁判官正木ひろし著、光文社発行)。迷宮入りの事件等あれば適当な被疑者(というよりも候補者)を引っぱつて来てしゃにむに犯人に作り上げてしまう。如何に精神力の強いかたい信念を持つてゐる者でも長時間(数日間)に亘る拷問に耐える事は絶対に出来ない。刑事はあらゆる国民の上に絶大な権力と、完全な権威を持つてゐるのみ。そして彼等自身の征服欲を満たしたり、強忍性を満足させたりした。女性の社会主義者に対する拷問は破壊欲を極めたものであつたという事は有名な文士も彼の小説の中に書いている。

悪法も法であるというから、あの当時の治安維持法にふれる様な事をした人は仕方ないとしても、ただエスペラントを単人でいだけで拘留された人も数多い。そしてエス語通信によつてコミンテルンの重責の指令を受けたと告白した人連もいる。

新高警察はやつきと成つてエスペランティストの動向を調べだした。当時在野的なエス団体として P.E.U. (Proletaria Esperanto-Union) があつた。多くの労働者や学生が参加していた。さかんにアツピラをまいたり、地下組織の秘密会合をしたり社会主義の宣伝をしたりしていた。P.E.U. で発行した本も相当ある。新高がこれに目をつけぬ訳はなく、又一般のエス会の中に P.E.U. の会員が入つてゐないか等目を光らしたのもあの当時として当然の事かもしれない。私達は在野の人達に反動呼ばわりされるほど不明ではないと思つてゐたが、エス運動は一つの思想にとらわれてはならないし、ある特定の思想や宗教の道義にされては困ると思つた。左翼の人達が勝手にエスペラントを用いる事は差支えないが、中立的なエスペランティストを両端者扱いにするのは変である。エス運動といへども国家のために役立つものでなければならぬ。当時はこの様な考え方で進んだ。やはり人権のためというより国家のためという考え方に支配されたのは仕方ない事であつた。処で新高警察のやり方は何人でも報告の点数をかせむというやり方で初等の講習会を受けたばかりの人の所にまで個別訪問をするのである。エスペラントの講習会を受けただけなのに新高刑事におしよせられては気の弱いものでなくて大抵いやになつてしまう。

旭川寺ひこかつた探である。1934年7月旭川エスペラント研究会が出来、

1935年
ればなら
いやがら
て来ます
て会長の
らまだよ
評々「と
やな編を
不良刑事
思われる
石井清
初から今
等あると
代の古い
所謂赤色
特別な管
もないの
い会費が
るねとた
は一度も
1934
ではない
たい、や
8月
本大会を
9月2
1935
4回全道
の頃から
本私の家
から教の
のが狂番
休つた報

1935年7月旭川エスペラント会となった。そしてこの会は四五人で解散しなければならなかった。(正確な年月調査中)その理由は将高刑事の大津会長に対するいやがらせが主な原因である。彼等は仕事なくなるとエスペラントの調査に行つて来ますといかにエスペラント会に重大な問題がかくされている糸に懸せかけて会長の刃に絶えずおしかける。人の迷惑も考えないで時間をつぶして行くやうなまだよい。名義を出せ、新しい会費はどうだとかいやがらせをいう。そして時々「どうです先生一杯やりませんか」と会長をこそい出してた。会長がいやな顔をする。すぐ会費の身元調査を何かで駈をうつ。常務な会長はこの状は不良刑事に何脚返もつきまどわれる事を心よしとしないで会を解散させたものと思われる。

石井将高刑事と私の交際は1932年10月頃から1936年7月頃迄続いた。最初から今迄の刑事と異なり何人ともなく人好のするタイプであった。やはり講習会等あると受講生の名簿をほしがったり、会費名簿をくれと言つたりした。白樺時代の古い名簿は一冊やった。エスペラントの本質的なものや札幌エス会の中には所謂赤色分子等はいないという事もよく理解していた様である。ガ象とか何かの特別な種しもの時は名前を変えて出席した。私達も警察に目をつけられる何物もないので彼の出席を拒否した事もないし又出席するものでもなかった。私は新しい会費が警察の調査をいやがっている事を正直に話し、新会員の意向をしてくれるなどたの人だ。彼はよく私のいう事を理解して彼がエス運動を取扱っている間は一度もそういう事がなかった。

1934年 学会の岡本氏がもうそろそろ北海道で日本大会を開催してもよい時期ではないかという様な話があり、札幌を中心とするエスペランティストが是非やうたい、やらなければならぬという気持ち動いて来た。

8月21日私が小樽まで自取車で祖田君を訪れた。中村文雄氏にもあって、日本大会を札幌で開催する事にすゝめられた。

9月23日や3回の北海道大会が小樽で開催された。

1935年3月13日才24回日本大会期成委員会が結成され8月3日帯広市で才4回全道大会開催。6月16日23回日本大会出席のため私が名古屋に向つた。この頃から札幌を中心とするエス運動は非常に盛んになって来た。従つて石井刑事も私の家に入出入りする事も多くなった。大会や大きな催しものある時は私の方から彼の家に出向いた事もある。彼はエス運動についての正確な報告を提出するのが任務であるがその頃の私には悪われた。例へば才2回大会について将高で伏つた報告書は若人と私の書いたものまゝのまゝ書しであつたが、日本大会の後

では彼の家に呼ばれて報告書作成の手伝いをさせられた。刑事だから吉われる筈に思つたという事ではない。私等に出来ない様な事でも色々方面に渡りをつけたら、会場の交渉や、名士に紹介してくれるとか随分骨を折ってくれたからである。日本大会などは彼の助力がなかつたらとてもあれほど手ぎわよくは行かなかつたかも知れない。それにこの当時特高に目をつけられる様な人は札幌工学会には殆んどいなかったし、いても会に出席はしなかつた。

1932年の冬だと思つたが太田の元が左翼的な婦人を主として講習会をやつた事がある。私は主催者が札幌工学会の款に見られるのを恐れて解散するか否しやるなら別の名前で作つてもらいたいと申し入れた事がある。それに赤化操作の演説をしたり、特高刑事を軽くしたりしているのを私の事を軍国主義者か反動だとさめかかっている人もいたのだが、私としてはエスペラントの中立性を守る事と特高の牽圧からエス運動を守ろうという以外に他意なかつたのである。しかしその内に次に述べる様な大きな誤失を犯してしまつた。

松原雪江さんについて

1935年9月22日、24日名古屋市中オ23回日本エスペラント大会が開催された。この大会に私は北海道エスペラント聯盟の代表として出席し、オ24回大会を札幌で開催する事を提案する事になつた。旅費その他の経費として十円は同志が義務として出して下さり、あと自分で十円ほど郵送して汽車賃からその他全部を二十四で阿に合せた。宿屋に泊つたのは名古屋の合宿だけであつた。この大会に参加したおかげで当時日本エス界の大立物という様な知名の士と親しくお話ししたり、交際する機会を与えられた筈である。万次まさ子さんと親しい松原雪江さんにもこの時お目に掛り、その後何回か文通もしていた。24回大会が近づいた時次の様な手紙をいただいた。

もう20年も通つている事だからこの手紙を発表しても御迷惑の掛る事もあるまいと思つし、私の長い間業になつてたことでいっかおわびをしなければならぬと考へたついにその機会がなかつたのでここに発表させて置く事にする。

相沢様 大会がいよいよ近づいて参りましてさやかし御忙しい事で御座居ましようか、お変わりも御座居ませんか、何時もお健やかにエスペラント運動にお尽くし下されますように祈つております。

さて、大会に出席いたしますにつけ甚だ勝手なお願いで申し上げますが何卒委細御承知の上御便宜を御計い致しましたらば大変うれしく存じます。

実は昨年名古屋大会より遅りまして前もなく、かつて神戸のコレスポンダグ

ルーボに加入、外国文通をしていましたのを理由に警察のおとり調べを受けました。実際のところその時より半年も前に既に退会、会費も払込みませず、オルガーノも貰ってはいませんが、名義も消してごさいませんでした由、兵庫県警察より当地の警察本部にアロエズ運動の疑いをもって通告がございました由にて随分厳しい調べを受けました。

そのレスポンスグループの中に盛に露支方面の人々と文通していた方がありましたとかで私も何か思想的指導を受けはしなかつたかと疑われました。本部の名義にのせられました以上当分は余程慎重に行動すべく固因のすすめもあり、OESの例会へも一時は出席致しません位でございました。

本年四月又々他系からの依頼で石井廣につき意向を受けました。教団派の刑事に面会漸く私を理解して廣く争が出来ましたが今後新しい事件に因らぬように充分注意して貰いたいと申されております。

こんな次第で今度の大会出席希望も前以って同刑事に申出で了解を得ましたけれど、偽名をつかう事と一切表面に出ぬ事及容真にも入らぬ事という条件つきでございませぬ。誠に心苦しく晴々せぬ事ですけど、よりよき進歩発展の機会を掴むこととございませぬ。

何年生杯の次斗おかくみ下さいまして私を御許し下さいます様にお願ひ申上げます。従って申込書は又今お送りいたしませんか、札幌市の時間及宿泊予定はすべて東京の万沢さんと同じでございませぬからよろしくお願ひいたします。万沢さん既に御申込みになりましたと同いしましたが御手許に届いておりますか。

梅雨も漸く明けて夏らしい暑さを覚えます。ますます御気候の上エスペラントの熱闘奮闘遊ばされます様に祈つて居ります。

かしこ

七月十四日

松原雪江

二伸 私は今月26日上京、大会へ出発まで東京に滞在いたします。

当時のエス運動に対する弾圧干渉がどの様なものであるか知つてもらう為に全文をかかげた。

大会前近になつてからだと思ふが、この手紙が盛に石井刑事の目にふれたのである。前にも述べた様に会場の世話や宿屋の世話、文運公社に私を紹介するとかという様な事で概し私の所にははげしく出入してはいたし私の方にも油断があつたのであろう。仕方ないで、この事は大した問題にする様な事ではないから秘密にしてもらいたいと概し何處もたのんだ。概し地元の事ではないし、大阪に連絡を取る様な事はしないと固く約束した。

いよいよ大会当日朝会は十時からで、朝早く(或は大会の前日であつたかも知

R. F
MA
S. Bou
Tél. 6

Tre
mi p
êfe
tura
arti
aktu
el m
de J
viag
haj
estas
nuu
P
helpi
donat
kinj
D
pondo
miajn

れないう三宅史平さんやその他の参加者が到着するというので札幌駅に私はじめ
地元の方々と前日に到着していた進藤解太郎氏が出迎えに行った。三宅氏が駅か
ら直会に来ると中で立ちどまって進藤解太郎氏と話をはじめた。大阪の松原雪江
さんが大会に出席出来なくなった事、東京迄来ていて警察の為に大阪に引き戻さ
れた事、それと札幌の警察から何か連絡があった為らしいと聞いて、私の方をじ
つと見つめた。あのおとなしい三宅さんの勇の時の目の輝きに非難にこもった目
には出合つた事がない。私は全身の血がすうっと引いて行く様に感じた。

万れ札幌の日本大会に参加を希望されていた松原さんの気持はどんなであつ
たろう。そして東京から大阪につれて行かれどの様な意向を受けられたかと思
うと算じ世もない様な気がするのである。そして私という人間を信用出来ない男と
して、畏怖者として軽蔑して扱われる事と思う。自分の不注意と言い訳を申
訳ない事をしてしまった。十年程並うて大阪に行つた時(冬戦後)松原さんに会
つてお話を言いたかつたかその機会はなかつた。

8月9日付のハガキでエスペラントの事には一言もかれずに北海道行きは中止
した事、絶体言早教育法の事などを知らせたよこされた。私は返事を書く勇気も
なくその気になってしまった。今このハガキを出して見ると何か当局の圧力がこ
れにも加わっている様な気がしてならない。

石井刑事にはその機密をもらした事について詰問したが、大阪には、この様
な人がいるかと話会した事である。本人には知らせしてくれるねと念をおしたの
だかといまいな事を言っていた。

大会が過ぎて秋になり9月の末か10月頃であつたと思う。私は札幌に(当時札
幌市電の車掌であつた。)石井の訪問を受けた。彼は今まで私に対して取つた事
のない様な本来の刑事的な態度を示した。そして日本大会の時参加していた私の
家内がこの出席者の中に刑事が入り込んでいるという事を重要だと見られていた
Iという婦人エスペランティストに話した。そのIという婦人はその事を大きな声
で婦人エスペランティストの会合の時エス語で演説したというのである。私の家内
がそんな事と言うわけもないし、Iという婦人はエスペラントで話すほど研究は
していないはずなので私はその事を否定した。彼は怒らしい目で私をにらみつけ、
今迄の身元を調査した事がなかつたからと書つて私の生年月日や本籍など丁
度欠番の巡査の様な態度で手帖を取り出してそれに書き付けて歸つて行つた。

その後戦争が終るまで会つた事がなかつた。

R. FIQUET

MARBRES

5. Boulevard Stalingrad, 5
Tél. 69-65 NICE

Nice, la Bana de Junio 1955.

S-ro Dro I. Yamaga
Okulisto
Hanazono-tyô Higasi 3-tyun

Otaru-si (Hokkaido)

Japon

Tre Estimata Sinjoro,

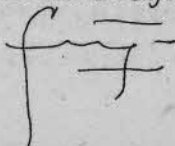
Kun mia eminenta amiko, s-ro Prof. G. Waringhien, mi preparas eldonon de Esperanta Revuo, kiu estos ĉefe literatura, laŭ modelo de la antaŭmilita Literatura Mondo. Sed ni tre ŝatus ke ĝi entenu ankaŭ artikolojn pri kutimoj, moroj, sciencoj, metioj, aktualaĵoj k.t.p. en la diversaj landoj.

Ni sukcesis kunigi brilan kunlaborantaron el multaj nacioj sed mankas al ni partopreno de Japanaj kaj tio estas tre bedaŭrinda, ĉar viaj lando kaj kulturo estas certe tre interesaj kaj nepone konataj en Eŭropo kaj Amerikoj, kie estas la plejmulto de niaj legantoj abonitej ĝis nua.

Pro tio mi nun turnas al vi por scii ĉu vi povas helpi al nia entrepreno per sendo de artikoloj aŭ donate al ni la nomojn kaj adresojn de personoj, kiuj povos verki por ni.

De nun mi dankas vin por via afabla respondo, kaj sendas al vi, Tre Estimata Sinjoro, miajn sincerajn salutojn.

R. K.



ユーゴースラビヤの少女との文通

サツボロ アリマ・ヨシハル

10 才から 12 才くらいの欧米の少年少女が「同じ年ごろのニッポンのゴドモたちとの文通を望む」という大通希望の広告を出しているのを、R.O 誌やその他誌上でよく見かけますが、ニッポンにはこの年ごろで Esperanto のできるゴドモがいないので、彼等の希望をかなえてやれず、気の毒なくらいです。

ヨーロッパのゴドモたちの Esperanto の力がどれくらいのものかを知りたいこともあって、ユーゴースラビヤの今年 13 才になる少女とわたしの長男（今年 14 才）との間に文通させてみています。もちろん長男もまだ Esperanto を学んでいないので、わたしがホンマク書となって両者の中つぎをつとめているわけです。

いままでに、こちらからはオム信まで出し、相手からはオム信までしか返けていないのですが、オトナの文量では味合文ないおもしろさもあるので以下少しヒロウレてみましょう。

サツボロ 1954. 12. 13

親愛な友

ぼくはあなたの住所を「ハロルド・デ、エスペラント」の 10 月 14 日号で見ました。

お互の国のおもしろい事について、あなたと文通をし、切手を交換したいです。

ぼくはいまユーゴースラビヤの切手はたった一枚しか持っていません。ぼくは 13 才の中學生です。

あなたはぼくの申入れを賛成しますか？ しかしぼくはまだエスペラントで書くことが出来ません。だからぼくは、父のなかでちで文通することにします。

ご返事を待っています。 さようなら。

親愛
わたし
ガキを大
わたし
ますので
あなたは
あなたはゴ
を習得し
わたし
れました
していま
あなたは
山の切手
す。
同時に
のエハが
きよう
ています
あなたは

あなた

ぼくの
千の感
山な切手
あなたは
くは感心し
ぼくは
来て英語を

ビェロバー, 1955. 1. 18

親愛な友よ!

わたしにとって、とても興味のある切手のはってあるたいへん美しいハガキを大きなよろこびでうけとりました。

わたしはお国の人々の生活、風習そしてお国の美しいものに興味がありますので、あなたと文通することをよろこんでお受けします。

あなたはエスペラントで書くことが出来ないと言っていますが、もうあなたはゴドモでなく立派な少年なので、エスペラント語で書くことを習得しようと主張しなければなりません。

わたしは小塚校6年生の女の子です。わたしは1942年10月8日に生まれました。エスペラントは5年前に覚えました。いまでは15ヶ国と文通しています。

あなたはおハガキに切手を交換したいと言っていますので、わたしは茨山の切手をこの手紙に同封します。それがあなたの国に入るよう希望します。

同時に、Dalmatio の国民服装のエハガキと Postojna の洞窟のエハガキをお送りします。

さようはこれで終ります。そしてあなたからのすぐのご返事をお待ちしています。

あなたのユーゴスラビアの友の心からのごアイサツを申し上げます。

ズデンカ・ボラシェク より

あなたのお写真をお送り下さるようお願いいたします

サツボロ, 1955. 2. 2

ぼくの親愛なズデンカさん、

千の感謝をもってぼくはあなたのご親切なお手紙と2枚のエハガキ、茨山の切手をうけとりました。ぼくはすぐ切手アルバムにはりつけました。

あなたがゴドモのころにエスペラントを習得することが出来たことにぼくは感心しています。

ぼくはぜひエスペラントを習得しなければなりません。ぼくはいま学校で英語を習っていますので、エスペラントを学ぶ所向が并でないのです。

ニッポン語と欧米のコトバの向では単語、語句、文字その他で大きな違いがあります。だからぼくらは英語もエスペラント語も了解することは困難です。

ぼくらは国語を4種類の文字で書きます。その文字は「漢字」¹「ひらがな」²「カタカナ」³そして「Rōmaji」⁴です。漢字(発音 kanji)はシナの文字です。ひらがな(hiragana)はシナ文字(カンジ)から変形されたニッポンの文字です。

カタカナ(katakana)はニッポン固有の古代文字で、Rōmaji(romaji)はラテン文字です。

次に、ぼくは4種類の文字でぼくの名前を書きます。「有馬一朗」¹「ありま いちろう」²「アリマ イチロウ」³「ARIMA-Itirō」⁴そしてぼくの住所をニッポン字では「札幌市北二十四条西九丁目」¹と書きます。

あなたの名前と住所は何と発音しますか？ あなた方はぼくらの国のことについて学びますか？

ぼくはまだあなたの国について知りません。それでぼくはあなたの国の現在の気候と雪の量について知ることができません。ことしサッポロではぼくらはとても沢山の雪を降しました。

あなたはとても快活で不平を言わない。そして物事にコダワラナイ少女です。あなたはいつもよるこんで愉快に仕事をするので、あなたのホガラカサ性格を知っている人たちが褒められています。

それからあなたは忠実で温良なそして柔順な少女ですが、もしあなたが何か気に入らないとあなたは剛情な少女になります。

上に書いたことは、あなたの生れ年によってぼくの父が推量しあなたの性質をあらわしたものです。ぼくの父のこの推量はあついていますか？

あなたはニッポンの切手を望みますか？ ぼくはぼくの写真3枚とエハガキ2枚を同封でお送りします。

あなたのすぐのご返事を待ちつつ、

さようなら。

アリマ イチロー より、

サッポロ 1955. 5. 11

麗愛女士、

1955年2月2日にぼくはあなた宛ぼくの写真とエハガキ同封の返事を

お送
あな
あなた
あなた
—
第
大き
るエハ
すべて
なか
ニッ
わた
もつと
あな
きほめ
ンに驚
あな
わたし
で
「ピエ
とても
まは思
あなた
ですが、
わたし
念珠の工
でわ、
います。

お送りしました。

あなたはもうぼくの手紙をうけとりましたか？ ぼくは、手紙をまだあなたがうけとっていないのではないかと心配です。

あなたのお手紙を待ちつつ

アリマ イチロー より

ビエロバー 1955. 5. 22

親愛な友よ！

大きなよろこびをもつて、2枚の美しいそしてわたしにとって興味のあるエハガキとあなたの写真の同封されているお手紙をお受けしました。すべてに対して心から感謝します。

なかでもエハガキはわたしをよろこばせてくれました。ということは、「ニツボンの美」というアルバムをわたしは収めているからです。

わたしはすでにあなたの国について学校で学びました。だからわたしはもっとよくお国やその自然美などを知りたいのです。

あなたはわたしが、子供時代にエスペラントを習得出来たことをおぼろさほめていますが-----。わたしは外国語をととても上手にカンタンに覚えます。

あなたはわたしの名前と住所はどう発音するのかっておたずねですネ。わたしの名前と住所は次のように読みます。

ズデンカ ポラシエク。 ビエロヴァール市ギンゴギチェヴ 2。
ビエロヴァール市ではわたしたちは沢山の雪を持ちませんでした。先日はとても美しい曇り天気でした。もう、クダモノは皆みのりました。いまは悪い天候で雨が降っています。

あなたのお父さまのわたしについての推測は当たっているかと、おたずねですが、ええあなたのお父さまの推量は正しいです。

わたしはあなたえわたしの写真と Zagreb の Tomislav 王の記念碑のエハガキをお送りします。

でね、さようは終わります。そしてあなたのすぐのご返事をお待ちしています。さようなら

ユーゴースラビヤ、ビエロヴァール市

ギンゴギチェヴ 2。

ズデンカ、ポラシエク より。

サライエチ、1955. 7. 3

親友な友!

Sarajevo のエスペラント大会から、心からのごあいさつをあなたへお送りします。

ズデンカ ポラシェク より。

サッポロ 1955. 9. 20

ズデンカさま

5月22日付お手紙とあなたのお写真、Tomis Lav 王の記念碑のエハガキ、深山な切手、それから Sarajevo のエスペラント大会からの記念ハガキをお受けしました。心から感謝しています。

写真で見るあなたはハッラツとして発明ですね。あなたはニッポンのことを学族でならつたそうですが、ぼくはまだお画のことをならいません。しかし、ぼくはあなたの画について大きな興味を持っています。

ニッポンというエハガキを別送しましたからあなたのアルバム「ニッポンの美」にはつて下さい。それからキノノ妻のニッポン婦人の出ている絵本も別便でお送りします。これでああなたはニッポンの風俗がよくおわかりになると思います。10年前の麻痺のザンゴクさを見てどう思いますか?

いまこちらは秋風が吹いて寒いほどですが、夏はものすごく暑さで病りました。しかしその代りに漢俳脚、クダモノなどは有史以来の整隊だといわれています。

ニッポンの赤坊がヒソ入りの粉ミルクを知らずにのんで3,000名ほど中重症にかかり、40名余りは死にました。ニッポンでは敗戦以来、集団的に死ぬことが多いようです。

世界のどこかではいつも争いが起つています。アメリカでは台風でソナン着が深山出ています。人間は神の怒りにふれるような事はかりしているのかも知れませんが。

あなた方は学族または家庭で、私人人としての色々な作法、たとえば食事の仕方、ダンスの仕方等について勝別に教わりますか? ニッポン人はゴドモもオトナも何も教わりません。

ぼくはいま学族で、自動車の運転を習っています。動かすことはもう

おぼえま
ニッポ
さような

HEL

(昔

ENC

NAU

ELE

EL

Prak

Nov

LA

Prov

AUL

EL

LA

Gale

EN

SOM

PIL

AMO

PET

VER

SE

KUZ

おぼえましたからあとはスピードが試せるように練習をつむだけです。
 ニッポンの切手を少し入れておきます。 できようはこれでやめます。
 さようなら。

アリマ イチロー より。

HEL 蔵書目録 (I)

HELの書籍は目下整理中ですが、幸甚所に搬入済は下記の通りです。

(書 名)	(頁) (年次)
ENCIKLOPEDIO DE ESPERANTO 1. A-J	271 p. 1933-4
NAŬLINGVA ETIMOLOGIA LEKSIKONO	249 p. 1907
ELEMENTA FOTOGRAFA OPTIKO	79 p. 1906
EL LA BIBLIO	43 p.
Praktika Frazaro	44 p.
Noveletoj el La Nigra Arbaro	47 p.
LA PREDIKANTO	26 p.
Proverbaro Esperanta	82 p. 1910
AULI	54 p. 1934
EL LA NOTOLIBRO DE PRAKTIKA ESPERANTISTO	125 p. 1934
LA STRATO DE FIŜANTA KATO	268 p. 1937
Galerio de Zamenhofoj	40 p.
EN OKCIDENTO NENIO NOVA	252 p. 1929
SONORILLO KAJ KANONO	60 p. 1930
PILGRIMO	124 p. 1926
AHO KAJ POEZIO	96 p. 1928
PETRO	112, 48 p. 1932
VERRATA TESTAMENTO	122 p. 1930
SE GRENERETO	158 p. 1930
KUZETO	14 p.

HOPINKA	60 p.	(1929)
ARGENTA DUOPO	201 p.	(1929)
JUNECO KAJ AMO	70 p.	(1930)
Rido Sanigas	32 p.	(1929)
LA OFICIALA RADIKARO	69 p.	(1928)
Gajaj' Horoj por Esperantistaj	56 p.	(1929)
RAKONTAJ al mia Belulino	134 p.	(1907)
GINEVRA	48 p.	
LA ESPERANTO-KLUBO	48 p.	(1933)
世界語読本 (長谷川=葉寄訳)	46 p.	(1906)
PAROLADOJ DE D-ro L.L.ZAMENHOF	79 p.	(1924)
LA UNUA LEGOLIBRO EN ESPERANTO	32 p.	(1932) (1897)
EN LA NEBULO	24 p.	(1931)
PERLOJ EL LA ORIENTO	40 p.	(1821)
エスペラント発音研究	41 p.	(1875)
LA DEK BILDOJ DE BOVPAŝTADO	20 p.	(1930)
Fundamenta Kursolibro de Esperanto	43 p.	(1877)
ESPERANTAJ FABELOJ	44 p.	(1932)
TRAKTATO pri la ORIGINO DE JAPANA POPOLO	16 p.	(1885)
INFAN-MURDO	47 p.	(1930)
BILDLIBRO SEN BILDOJ	35 p.	(1933)
EL Slava Literaturo	74 p.	(1888)
DEZERTO	42 p.	(1932)
LERNLIBRO DE ESPERANTO	46 p.	(1811)
LA VERDA STELO	76 p.	(1813)
Praktika interparolado Esp-japana	142 p.	(大18)
POPULARAJ KANTOJ en JAPANIO	18 p.	(1927)
中学学校英語科問題とエスペラント	30 p.	(1810)
JAPANLANDO	102 p.	(1927)
Bona Amiko		
Unua Kursolibro de Esperanto	40 p.	(1931)

表る
 スペラ
 この
 らの間
 十時前
 Esper
 先づ
 んでし
 議長の
 anto
 その後
 戯を持
 ありま
 とや
 かで受
 又 5-
 Esper
 idean
 交されま
 先づ出来
 艦に全団
 オ 20 回
 致でこれ
 誠に必死
 午前一
 午前一
 の Poem
 就中 5-
 して并右

第19回北海道 Esperanto 大会報告

去る 10 月 2 日、小樽水天宮に於いて開催されましたオ 19 回北海道 Esperanto 大会の模様を前に振り返つて書いて置たいと思います。

この日、気づかわれた天気も朝の中は甚だ良好でありましたので各地からの同志も会場迄の道を準備せずにもすんだのは喜ばしいことでした。午前十時開会の予定でしたが由仁の同志を待つていた漁午前十一時に *Espero* の合唱と共に大会は開催されました。

先づ連盟会長 s-ro 坂下の *saluto* を s-ro 坂下都合悪く出席出来ませんでしたので s-ro 相沢から代つて *Saluto* が述べられ、次いで大会議長の返出に入りました。その結果 s-ro アリマを全会一致で *Prezidanto* に指名し、新に大会は新議長の下で運営されることになりました。その後各地代表の *Movado* の状況報告がありましたが、何れも強固な組織を持たないため目立つたことも出来ず一年を経過したのが実状のやうでありましたが、小樽では高橋津治氏が *Esperanto* の通信教授を始めたことや、s-ro 早川の努力によつて花園小学校出品の児童画がカールスコークで受賞したことなど、幾多の話題が活発に語られました。

又 s-ro 相沢から、次期大会迄の計画として札幌に於いて滞在している *Esperanto* の書籍を *HEL* の手によつて集め一所にまとめて *Jaon-ideano* の参考に供したい旨申し入れあり。これについても色々討論が交されましたが、書籍が散逸して全部集めることは困難なやうでしたので、先づ出来るだけ集めるやう努力することにしました。又、次期大会は札幌に全国大会が開催されてから素早く 20 周年になり、全国大会としてもオ 20 回に相当致しますので是非札幌にて開催したい旨提案あり。満場一致でこれを可決致しました。こゝで休憩に入り各自昼食を共にしながら座談に及び、その後神威にて全員打揃つて記念撮影やら境内の散歩やら午後一時迄和やかな雰囲気の中に過ぎました。

午後一時再会し *amuzigo* に入り s-ro 早川の *Kanto*、s-ro 相沢の *Poemo* の朗読等、各自返つておきのかくし技を披露に及びました。就中 s-ro 江口の佐渡おけさは踊子の指手を浴びる出来栄をぞした。かくして午後二時半、水天宮会場より一路車を釧路駐に馳らせ東小樽附近の散

前田
山本
藤井
廣山

表に行き、銀鱈荘にて水産記念館を見学したりしている中に、恐いことに病が降り出しとうとう解放の余儀なきに至りましたので、茲に一河は全て教会シヌ湖大会迄今年一星の活動を納めて別れました。

以上が大会の経過のあらましであります。幹事と致しまして色々至らぬ点も多く会も及びずしも盛況とは申されませんでした水試に不手際をお詫び致しますと共に、Samideans 諸氏の相成らざる御協力を厚く御禮申し上げます。

北海道大会申込者及参加者

(氏名)	(住所)	(欠)	(種別)
新田 勉 勇	夕張郡由仁町字三川	欠	一般
坂谷 昭 典	・ 字川端	・	・
林 善 久 治	室川町字泉町6区	・	・
藤 麻 信 吉	函館市港町興道敷地	・	・
仁 保 武 親	・ 岩前町19	・	学 庄
刺 注 育 保	札幌市北12条西14	・	一 般
面 屋 静 彦	・ 南16条西5	・	学 庄
アリア ヨシハル	・ 北24条西9	・	一 般
相 沢 治 雄	・ 菊水東町7	・	・
吉 橋 要 一	・ 大連東6の1	・	・
土 田 虎 幸	小樽市清水町34	・	・
杜 福 沢 雄 大	・ 遊農学校内	・	学 庄
堀 名 大 吉	・	・	・
江 口 吉 次	・ 美沢町4の22	・	一 般
井 上 武 次	・ 緑町1の23	欠	・
山 坂 秀 治	・ 沼田町東3の11	欠	・
高 橋 豊 治	・ 桜町307	・	・
柳 上 肇	・ 手宮町2の11	・	学 庄
早 川 昇	・ 泉町2の2	・	一 般
早 坂 基	・ 住之江町9の8	・	・

会
一 般
学 庄

寄
藤原
札幌工
山 賀

(註)

前田 幸一	川崎市花園町西2の17	出	一報
山本 昭二郎	清水町34	出	・
藤井 沢司	岩見沢市4茶屋15	出	・
横山 玄徳	小樽市梅ヶ枝町44	出	・

第19回全道大会收支決算表

(収入)	(支出)
<p>会費</p> <p>一報 $250^{\text{円}} \times 19^{\text{人}} = 4750^{\text{円}}$</p> <p>学生 $100^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} = 500^{\text{円}}$</p> <p style="text-align: right;">5,250^円</p> <p>寄附</p> <p>藤原信吉氏 $50^{\text{円}}$</p> <p>札幌工学生会 $300^{\text{円}}$</p> <p>山賀博士 $1500^{\text{円}}$</p> <p style="text-align: right;">2,050^円</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">7,300^円</p>	<p>大会代 $1600^{\text{円}} (80^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})$</p> <p>車賃代 $460 (20^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})$</p> <p>乗子代 $690 (30^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})$</p> <p>お茶代 $150 (100^{\text{円}})$</p> <p>プログラム代 $100 (2^{\text{円}} \times 50^{\text{人}})$</p> <p>バス代 $300 (15^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})$</p> <p>大会案内費 } $1016 (8^{\text{円}} \times 127^{\text{人}})$</p> <p>大会場費 } $1,000 (会場謝礼)$</p> <p>大会報告印刷費 $150 (5^{\text{円}} \times 30^{\text{人}})$</p> <p>大会報告通信費 $250 (10^{\text{円}} \times 25^{\text{人}})$</p> <p>雑費 $70 (1^{\text{円}} \times 70^{\text{人}})$</p> <p>剰余金 $1514 (註)$</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">7,300^円</p>

(註) 支出の前「剰余金」1514^円は、次期大会予算の一部に充当する為私帳に引継ぎます。

北海道エスペラント連盟名簿

N-ro 11 (14名), N-ro 12 (42名) = ヴヱ'7

瀧越 春夫	札幌市南5条西3丁目
小田 篤 一	上磯郡上磯町久根別7
葛西 薫三郎	札幌市伏見町 1512
森谷 泰雄	札幌市南7条西15丁目
高村 光 東	小樽市花園町東3丁目9

興 計 62 名

会員住所変更

蟹田 ミ 子	小樽市表碓町 171
河野 子 工	・ 録町2丁目27
池 島 与 三	旭川市石鏡北4条支店内
巖 辺 正	岩見沢市名下町3丁目
折井 静太郎	旭川市 旭川街切基津監警署内
大 木 克 己	東京都目黒区中根 79

Kara Sinjoro,

Tokio; 28/A / 1955

Jam pasis multaj tempoĵ post kiam mi pelis vin ke korespondanton deziri, kaj nun mi povis hari du bonajn amikojn mi elkore dankas por via bonkoreco.

Ankorau nun, mi devas informi al vi kun granda goĵo ke mi povis forlasi la hospitalon en la 16-a de ĉi monato. Kaj nun mi estas sufiĉe ripozanta en kara nia domo.

Preĝante rian feliĉon.

(註) F-
B北

天 夜 (2)

水 入

会 費

寄 附

(残 額)

発行

発行人

会 費

Restas Sincere
via Etuko Kamiya

(註) F-ino Kamiya-Etuko は本誌 No.12 に宅名指し控帳にかおてから北海道の *demileano* と文通による交歓を希望していた。

HEL双支報告

収 入 (6月17日現在)

7,421^円

収 入

会 費 1年分 200^円×4 = 800^円

半半年分 100^円×5 = 500^円

寄 附 (小田島) 100^円

小 計 1,400^円

支 出

No.12 印刷代 3,000^円

送 料 (仮払) 1,000^円

振 替 料 70^円

4,070^円

(残 高)

$7,421^円 + 2,400^円 - 4,070^円 = 5,751^円$ (9月20日現在)

LEONTODO No.13

発 行 1955. 10. 15

発行人 北海道エスベラント連盟

札幌市比1条東9丁目 坂下清一 方

会 費 年 額 200 円 (H.E.L.会費)

(年4回発行配本)